



こくう
穀雨（19日）…草木の緑が一気に伸びていきます…

この時期に降る雨を百穀春雨と呼ぶそうです。穀物にとっての恵みの雨が降る季節です。気温も上がり、園庭の草木がぐんぐんと伸びて生命の躍動を感じる時期です。ところで、前回の（虹始見）の日付を19日までと書きましたが、18日まででした。お詫びして訂正します。二十四節気の日付は、年によって微妙に違います。ちなみに、来年は2月3日が立春なので、2月2日が節分となるようです。私もこれらのことは、国立天文台のホームページで調べています。また「暦生活」などのホームページも参考にさせてもらっています。

< 葭始生 あしはじめてしょうず 4月19日～24日 >

穀雨の初候は「葭始生」です。わくわく池は、平成13年に当時の保護者の皆さんの協力を得て手作りされたビオトープです。私は当時学級担任として、区教研の環境や自然に関する部会で、ビオトープづくりを推進していました。それに応えて区内のあちこちの園で池を作ったり、蝶を呼び込むためにみかんやアベリアを植えたりすることが広がっていきました。ところで、わくわく池では蛙やおたまじゃくしがメジャーですが、実は他にもかなりレアな大物がいることを先日から発見していました。そして、先週火曜日、その仲間の痕跡を発見しました！



わくわく池は、下にゴムの防水シートが敷いてあるビオトープで、たまり水です。今は穀雨のお陰で水がたっぷりですが、冬の乾燥する時期は、ホースで水を足しています。この春、主事さんや先生たちとで池をちょっと広げ、敷石を購入して周囲をきれいに整備しました。みんなが来るのを待っているよ！

< レアな大物〇〇〇〇〇とは一体?? >

〇の中にいます。拡大すると右の写真です。他にも脱いだ痕があちこちに4つありました。普段ならば、私のように虫や自然が大好きな子が、身支度を済ませて園庭に飛び出して、あちこちを探検し「みんな見て見て、大発見！」「園長先生、これって何ですか？」などと大騒ぎになるところです。「すごいものを発見したね、何だろうね？」と驚きに共感し、時にはうんちくを披露するときもあります。しばらく池の周りは、子どもたちでいっぱいになります。そこで、この休み中に整備をしたという訳です。池にハマって着替えた子が何人もいましたものね。



体長約 4.5cm ですから、成虫は大物の〇〇〇〇〇に違いありません！



↑ 水草の茎に捕まって羽化していたのは、おそらく〇〇〇〇〇。そのぬけ殻が残っていたのです。ということは、池に中にいたのは△△ですね。分かるかな？

← 池の整備は主事さん方が大活躍！この日は用務の委託会社の沢柳さんが応援に来てくれ、以前、先生たちが直したところを補修してくれました。他にも主事さんたちが園庭や園内の環境整備には大活躍してくれています。感謝、感謝です。